

芳野連合会長の国葬出席表明に「反対」する全国ユニオン声明

私たち全国ユニオンは、9月15日に行われた連合の中央執行委員会で、芳野友子会長が安倍晋三元首相の国葬出席を表明したことについて、加盟産別として反対の意見を表明しました。なお、全国ユニオンは本年7月23日に開催した第21回定期大会においても、国葬反対を決議しています。反対の理由は、主に以下の点についてです。

一つは、国が国費で営む葬儀である国葬について、1947年に国葬令が失効した後根拠法が存在しないことです。

二つに、憲法83条において「国の財政を処理する権限は、国会の議決に基づいて、これを行行使しなければならぬ」と定めているにもかかわらず、国会での議論を経ていないことです。

そして、三つに、安倍元首相は在任時に多くの労働者や過労死家族の会が反対しているにも関わらず、労働時間規制を破壊する「高度プロフェッショナル制度」や不安定を永続化させる労働者派遣法の改悪を成立させた人物であり、「労働者の代表」である芳野友子会長が国葬に出席し弔意を示すこと自体に強い違和感を感じるためです。

「私たちは、組合員の視点に立った運動を展開するとともに、全ての勤労者・市民に共感される運動をめざす。」(連合行動指針 第2条)に沿う意味でも、芳野友子会長の国葬出席に反対します。

2022年9月19日

全国コミュニティ・ユニオン連合会
会長 鈴木

